

令和3年度モノづくり技術力向上のための「技術研修事業」

# 3Dプリンタ活用の応用

～モニタリング・フィードバック機能による積層造形の安定化について～

参加費  
無料

今回は日本電産マシンツール株式会社様より金属3Dプリンタおよびその造形安定化のためのモニタリングシステムについてご紹介いただきます。後半では、滋賀県立大学の田邊裕貴教授より造形物の評価技術の観点からご講演いただきます。

また本技術研修は滋賀3Dイノベーション研究会と共催となっております。そのため、研究会会員のみ参加可能な内容も一部ございますのでご了承ください。

時節柄ご多忙とは存じますが、是非ご参加ください。

本セミナーでは感染症予防対策としてマスク着用をお願いします。体調不良（風邪症状、発熱、倦怠感等）の方や、2週間以内に海外から帰国の方は、参加を控えてください。当日は十分な座席間隔の確保、換気、アルコールによる消毒を行うことについてご理解・ご協力をお願いいたします。状況によっては、開催の延期や中止となることもあります。

## 開催日時等

日時：令和4年3月3日（木）13:30～16:40

場所：日本電産マシンツール株式会社

〒520-3080 滋賀県栗東市六地藏130番地

※今回の会場は滋賀県工業技術総合センターではありません  
のでご注意ください

## 講習会内容

第1部【講演会・見学】13:30-14:50

「仮・金属3Dプリンタとモニタリングシステムについて」

日本電産マシンツール株式会社 技術本部 微細加工グループ 倉本 博久 氏

DED方式金属3Dプリンタとその造形安定化を目指したモニタリング・フィードバック機能のご紹介。また、同社のバインダージェット方式金属3Dプリンタについても併せてご紹介いただきます。加えて、金属3Dプリンタおよびモニタリングシステムの見学会も実施いたします。

第2部【講演会】15:00-15:50

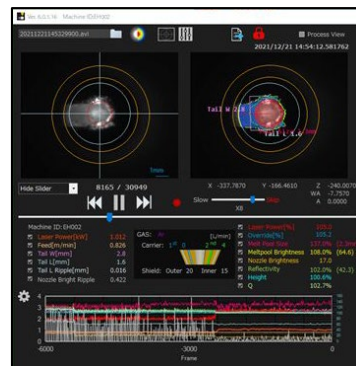
「仮・材料の非破壊検査手法について」

滋賀県立大学 工学部 機械システム工学科 田邊 裕貴 教授

金属3Dプリンタによる積層造形物に限らず、金属製品中のき裂や空孔などの欠陥は、例えば疲労強度特性などに大きな影響を及ぼします。これらの欠陥に対する非破壊検査手法について、ご紹介いただきます。

第3部【研究会例会】16:00-16:40（研究会会員のみとなります）

「研究会先行試作報告および来年度に向けての連絡」



モニタリングシステム画面

お申し込み : <https://www.shiga-irc.go.jp/info/news/20220303>

お問い合わせ先：滋賀県工業技術総合センター 斧、柳澤、今田、藤井  
(滋賀県栗東市上砥山232 TEL：077-558-1500)